歴史を歩く35

おおさきの歴史を旅してみませんか①
都城島津氏の持在地として栄えた町

菱田の歴史は古く、奈良時代初期の『大隅風土記』の逸文にある『必至里』は菱田ではないかと救仁郷断二著『大崎町史』に記されています。また『春日神社』や『領家』の地名は荘園時代に藤原氏の所領であった名残で『上住』『下住』は律令時代の条里制の名残ともしるされています。江戸時代は海上交易の要所とし都城島津氏の所在地（直轄地）になりました。近代以降も都城との深いつながりのある場所です。

① 熊野神社

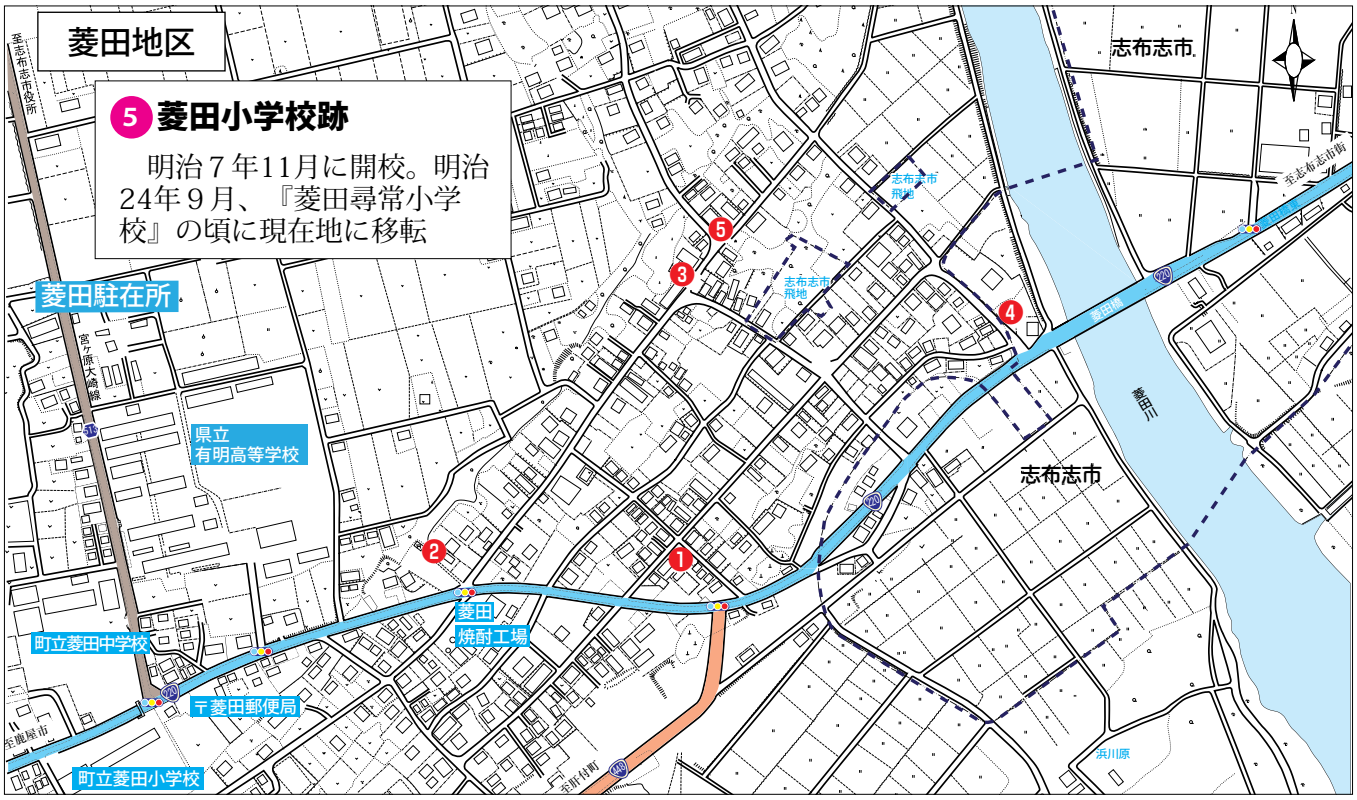
創建は不明。江戸時代初期頃か？スサノオノミコト・イザナギノミコト・イザナミノミコト・コトシロヌシノミコト・クスノミノミコト・ハヤタマオノミコトと阿弥陀如来、千手観音、薬師如来の９体の神仏が祀られている。

② 南方神社（諏訪神社）

祭神はタケミナカタノミコトとヤサカトメノミコト。元和２年(1616年)に都城島津家12代忠能が再建した。創建は不明。

④ 春日神社

平安末期、救仁郷は島津荘の一円荘であり、藤原家の所領であった。春日神社は、藤原氏の氏神である。

③ 玉宝山正明寺跡

福昌寺37代の覚海円大による開山と江戸時代の古文書『大崎名勝誌』に記されている。慶長５年（1600年）北郷忠能に都城が与えられた時期に開山されたのではないかと推測される。福昌寺の末寺で曹洞禅宗。